

令和3年度上半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

| | | | | |
|-------------|---|------|----------------|-----------------|
| 施設名 | 岐阜市青少年会館 | | 所管課 | 教育委員会 社会・青少年教育課 |
| 指定管理者名 | 公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団 | | | |
| 指定期間 | 平成29年4月1日～令和4年3月31日 | | | |
| 選定方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 公募 | | 非公募 | |
| 料金制 | <input checked="" type="checkbox"/> 使用料 | 利用料金 | 料金徴収なし | |
| 指定管理委託料(年額) | 37,033,022円(4青少年会館一括) | | | |
| 施設の設置目的 | 青少年の健全な育成を図り、市民の教養の向上に資する。 | | | |
| 施設名 | (1) 岐阜市北青少年会館 | 所在地 | 岐阜市福光東3丁目19-18 | |
| 施設概要 | 研修室1、研修室2、講義室、体育室、談話室、屋外コート(テニス) | | | |
| 施設名 | (2) 岐阜市青山青少年会館 | 所在地 | 岐阜市小西郷1丁目56-2 | |
| 施設概要 | 会議室1、和室1、和室2、体育室、談話室、屋外コート(テニス) | | | |
| 施設名 | (3) 岐阜市西部福祉会館青少年ルーム | 所在地 | 岐阜市西荘2丁目11-23 | |
| 施設概要 | 研修室1、料理実習室、体育室 *西部福祉会館と複合施設 | | | |
| 施設名 | (4) 岐阜市東青少年会館 | 所在地 | 岐阜市前一色1丁目2-1 | |
| 施設概要 | 研修室1、研修室2、談話室 *長森コミュニティセンターと複合施設 | | | |

●利用状況

| (1) 岐阜市北青少年会館 | | R3 上半期 | R2 下半期 | R2 上半期 | R1 下半期 | R1 上半期 |
|---------------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 利用者数(単位:人) | | 4,607 | 7,551 | 4,859 | 9,152 | 11,831 |
| 各室稼働状況(%) | 研修室1 | 20.5 | 25.2 | 24.9 | 36.1 | 34.5 |
| | 研修室2 | 9.7 | 5.6 | 6.7 | 14.1 | 20.5 |
| | 講義室 | 28.6 | 35.5 | 32.5 | 45.8 | 47.2 |
| | 体育室 | 69.0 | 73.9 | 60.8 | 77.3 | 82.3 |
| | 屋外コート | 32.5 | 37.1 | 36.8 | 40.2 | 45.6 |
| (2) 岐阜市青山青少年会館 | | R3 上半期 | R2 下半期 | R2 上半期 | R1 下半期 | R1 上半期 |
| 利用者数(単位:人) | | 3,568 | 5,117 | 2,811 | 7,082 | 11,629 |
| 各室稼働状況(%) | 会議室1 | 25.0 | 7.5 | 7.7 | 15.7 | 18.0 |
| | 和室1 | 19.2 | 7.0 | 7.7 | 15.0 | 18.0 |
| | 和室2 | 21.4 | 18.5 | 16.2 | 17.7 | 28.2 |
| | 体育室 | 77.0 | 76.1 | 60.4 | 74.7 | 76.9 |
| | 屋外コート | 0.0 | 0.7 | 0.0 | 2.1 | 2.2 |
| (3) 岐阜市西部福祉会館青少年ルーム | | R3 上半期 | R2 下半期 | R2 上半期 | R1 下半期 | R1 上半期 |
| 利用者数(単位:人) | | 4,747 | 8,097 | 4,279 | 8,505 | 8,866 |
| 各室稼働状況(%) | 研修室1 | 41.2 | 48.9 | 36.8 | 58.4 | 53.9 |
| | 料理実習室 | 8.4 | 7.5 | 0.9 | 12.3 | 12.3 |
| | 体育室 | 87.6 | 85.8 | 81.5 | 79.2 | 72.0 |
| (4) 岐阜市東青少年会館 | | R3 上半期 | R2 下半期 | R2 上半期 | R1 下半期 | R1 上半期 |
| 利用者数(単位:人) | | 2,690 | 3,652 | 2,969 | 7,868 | 9,203 |
| 各室稼働状況(%) | 研修室1 | 56.7 | 51.6 | 58.8 | 55.6 | 63.1 |
| | 研修室2 | 39.0 | 40.0 | 37.8 | 62.3 | 63.9 |
| | 談話室 | 42.0 | 39.6 | 38.4 | 73.2 | 77.2 |
| | | R3 上半期 | R2 下半期 | R2 上半期 | R1 下半期 | R1 上半期 |
| 利用者数合計(単位:人) | | 15,612 | 24,417 | 14,918 | 32,607 | 41,529 |

●業務の履行確認

| 区分 | 確認事項 | 履行状況 |
|-----------|---|---|
| 利用者サービス | ①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 | ①岐阜市青少年会館条例施行規則を遵守している。 ②勤務ローテーション表を使用するなどして、計画的に人員を配置している。また、各館に教員OBや資格を有する職員を配置し、その経験や専門性を活かせるよう配慮している。 嘱託職員 4人 臨時職員 12人(全16人のうち教員資格保有者兼教職OB12人) ③広報ぎふ、岐阜咲楽、館内掲示、チラシ、ホームページ、SNS、ラジオ等で広く提供している。 ④会館利用者に対してアンケートを実施し、要望や苦情を的確に把握し、速やかに対応している。また、毎月館内会議を開き、接客態度の向上に努めている。 |
| 指定事業・自主事業 | 指定事業 ①青少年教育活動の推進 ②少年講座等の企画、開催、支援 ③相談業務 ④空き部屋の利用促進 自主事業 ①少年講座等の企画、開催、支援 ②相談業務 ③空き部屋の利用促進 | ①活動拠点支援事業 ・上半期利用状況： 利用者数15,612人 （前年度同期14,918人） 利用団体数1,243団体 （前年度同期1,284団体） ②講座事業 ・夏期少年講座： 54講座開催 参加者延べ615人 （定員672人 応募者892人） ・青年講座： 中止(4講座開催予定 定員42人) ③相談事業 ・主に青少年とその保護者を対象とした 教育相談 上半期相談件数：57件 （R2上半期30件、27件↑） ・エールぎふとの連携を強化し、4館でのサテライト支援体制を構築し、サードプレイス機能の充実を目指している。 ④学習拠点支援事業 ・小中高生に空き部屋を学習ルームとして提供 上半期利用者数：1,181人(14人/日)(稼働日85日・臨時休館70日) (R2年度上半期：1,327人(14人/日)(稼働日95日・臨時休館61日)) ①講座事業 ・春講座： 中止(12講座開催予定、定員142人 応募者298人) ・岐阜キラメキ講座： 29講座開催 参加者398人 （定員448人 応募者855人） ※指定事業も合わせた講座事業総計：83講座 参加者1,013人 （定員1,120人 応募者1,747人） （新型コロナ対応のため、定員は通常の1/2で実施） ※代替事業としてオンライン学習支援「おもしろ教室」を配信。おもしろ教室教材を職員の手作りで作成し、自由に利用できるようHPやYouTubeで配信した。 ②子ども会サポートプラン 上半期相談件数：11件 （R2上半期3件、8件↑） 内活動実施数：3件 69人 （R2上半期0件0人、3件↑69人↑） ※子ども会活動の自粛がコロナ禍のために繰り返された。 ③サタデー・サンデースクール(4館) 困り感のある子どもにとって心地よい居場所となるようなサードプレイスとしての活用を図っている。 上半期利用者数：60人 （R2年度上半期利用者数45人、15人↑） 上半期指導者数：18人 （R2年度上半期指導者数12人、6人↑） |

| | | |
|-----------|--|--|
| 施設管理 | <p>①日常・定期清掃業務</p> <p>②警備業務</p> <p>③ねずみ、害虫等の防除等</p> | <p>①日常清掃：全職員による清掃を期間中、日常的に実施。 施設利用後の職員による消毒作業の実施 定期清掃：アダプトプログラムによる地域の清掃 上半期：北18回、東18回、青山20回、ルーム20回 (4館合計76回)</p> <p>②職員による日常点検：職員が出退勤時に安全点検を実施。 機械警備：再委託業者による夜間と休館日の機械警備を実施。</p> <p>③害虫等を発見した場合は薬品を使用しない捕殺を実施。 ・敷地内の樹木剪定を職員で行う。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止策の徹底 ・セアカゴケグモ等への対応 ・職員による定期安全点検の実施 ・医薬品(応急処置用、熱中症対応用保冷剤等) ・防災用品(緊急放送ラジオ、職員用ヘルメット・寝袋)の常備 ・吐しゃ物処理セットの常備(ノロウイルス対策) その他、施設・設備等の管理については、仕様書・事業計画書のとおり業務を遂行している。 +J55:Q56</p> |
| 施設修繕 | <p>下記の観点からの修繕実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備 | <p>○迅速な修繕の実施(利用者からの指摘) ・施設利用者とのコミュニケーションを重視し、窓口での声掛けや利用後の要望などの聞き取りを行っている。 ・利用者アンケートに施設への要望等の欄を設け、利用者からの声を収集することで、ニーズや不備に対し迅速に対応している。 ・職員による日常点検において施設の不備や安全確保に努めており、発見した場合は可能な限り職員で修繕対応を行っている。</p> <p>○修繕実績(業者による対応) 北青少年会館 体育室ガラス、PCキーボード取替 41,085円 東青少年会館 研修室パーテーション修繕 38,500円 青山青少年会館 草刈り機の部品交換 12,400円 青少年ルーム 誘導灯バッテリー交換、エアコン修理 112,420円 合計 204,405円</p> <p>○職員による主な修繕・整備事項 ・使用済みスリッパの除菌作業(北青・ルーム) ・網戸補修(青山・ルーム) ・体育室床ワックスがけ(北青・青山・ルーム) ・施設内樹木・植栽の剪定、除草(北青・青山・ルーム) ・敷地内除草(北青・青山・ルーム) ・テニスコート整備(北青・青山) ・長机脚コロ取替(東青) ・駐車場の除草(東青) ・エアコンフィルター・カバーの清掃(4館) ほか</p> |
| 危機管理・法令遵守 | <p>①個人情報の保護</p> <p>②非常時の対応策</p> <p>③関係法令の遵守</p> | <p>① ・個人情報の保護体制について、窓口での表示やホームページでの公開を実施 ・「特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針」「特定個人情報取扱規程」を制定 ・個人情報保護担当者を配置 ・「個人情報保護宣言」表示を継続</p> <p>② ・新型コロナウイルス感染拡大防止策の徹底 「新型コロナウイルスへの青少年会館の対応方策」の策定 ・セアカゴケグモ等への対応 ・職員による定期安全点検の実施 ・医薬品(応急処置用、熱中症対応用保冷剤等) ・防災用品(緊急放送ラジオ、職員用ヘルメット・寝袋)の常備 ・吐しゃ物処理セットの常備(ノロウイルス対策) ・「青少年会館危機管理マニュアル」の設置</p> <p>③ ・「不当要求防止責任者選任事業所」プレート設置継続 ・岐阜市青少年会館条例及び施行規則に則り、「青少年会館業務マニュアル」を作成し、利用上の諸問題やトラブルへの対応について対策を共通理解し、職員全員が同様の対応ができるよう努めている。</p> |

●利用者評価

| | |
|----------------------|--|
| <p>利用者アンケートの実施状況</p> | <p>①施設利用者アンケート ・全ての施設利用団体(代表者)に利用する度に手渡しでアンケートを実施。</p> <p>②主催事業参加者アンケート ・講座参加者に手渡しでアンケートを実施。</p> <p>③アンケート週間「利用満足度アップアンケート」 ・期間中代表者だけでなくすべての来館者に対して、アンケートを実施。</p> <p>④「常設アンケート」の実施と「あと一声運動」による聞き取り調査を継続。(対象:施設利用者)</p> |
| <p>利用者アンケートの実施結果</p> | <p>①施設利用者アンケート 「利用回数について」 1,085件 初めて:2件 0.2% 複数回:1,083件 99.8% 「全体の満足度について」 1,085件 大変満足:68.1% 満足:30.7% 普通:1.2% 不満:0.0% 大変不満:0.0% (小計98.8%) R2年度比+0.8% ↑</p> <p>「施設設備について」 1,085件 大変満足:67.7% 満足:31.0% 普通:1.3% 不満:0.0% 大変不満:0.0% (小計98.7%) R2年度比+1.2% ↑</p> <p>「職員の対応について」 1,085件 大変満足:69.1% 満足:29.8% 普通:1.1% 不満:0.0% 大変不満:0.0% (小計98.9%) R2年度比+0.8% ↑</p> <p>【主な意見】 「いつも気持ちよく利用しています。ありがとう。」(4館 同様の声多数) 「きれいに清掃されていて、気持ちよく利用できました。」(4館 同様の声多数) 「いつも気持ちの良い対応をいただき感謝しています。」(4館 同様の声多数) 「手指の消毒、マスクの着用、3密の回避、終了後の部屋の消毒など、コロナ対応が丁寧にできていて、安心して利用できます。」(4館 同様の声多数)</p> <p>②主催事業参加者アンケート (①とても楽しかった・②楽しかった・③普通・④楽しなかった・⑤全然楽しなかった)</p> <p>■夏期講座: 少年講座・岐阜キラメキ講座ともに「楽しかった」の評価が極めて高く、前年度比を上回りました。(成果)</p> <p>◆少年講座 「講座は楽しかったか」 回答者:559件 ①:86.4% ②:12.0% ③:1.6% ④:0% ⑤:0% (98.4%) R元年度比+1.4% ↑</p> <p>◆岐阜キラメキ講座(自主事業) 「講座は楽しかったか」 回答者:242件 ①:90.9% ②:7.9% ③:1.2% ④:0% ⑤:0% (98.8%) R元年度比+3.8% ↑</p> <p>【主な意見】 ・「光アートづくり」自分で好きなように作ることができて楽しかったです。先生の指導も優しくて、親子で有意義な時間を過ごせました。粘土で色が作れてすごいなと思いました。 ・「フルカラーLEDで明かりアート」実物見本やポイントの説明が的確で分かりやすかった。時間が十分あり工夫して仕上げることができました。 ・「ビーズ イルカのストラップ」難しかったけど、ビーズを通すのが楽しかった。かわいく、お気に入りのストラップができました。 ・「ガラスに楽しく絵をかこう」ガラスに色を重ねていったのが楽しかった。とてもきれいな色に仕上がってよかったです。 ・「算数博士にチャレンジ」問題場面の意味、問題の解き方の工夫、算数的な考え方を学びました。教科書には書いてない内容で、驚くような解決の仕方がありました。先生がとても分かりやすく話されるので解けなくても楽しかったです。</p> <p>■青年講座:中止</p> <p>③アンケート週間「利用満足度アップアンケート」 実施期間: 9月15日～ 9月28日実施予定⇒9月30日まで臨時休館延長のため上半期は実施出来ず</p> |

| | |
|------------------------------------|---|
| <p>利用者からの 要望・苦情と 対処・改善</p> | <p>利用者から寄せられた意見等に対して、軽微な要望、修理、改修等については職員で速やかに対応するほか、業者対応を要するものについては見積もりを依頼し、後日対応している。</p> <p>【主な意見と対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2Fトイレ(男女共用)なので使用しにくい。改修をお願いします。」(北) ⇒部分改修を実施しました。 ・「机が動く。」(習字で利用の小学生5人から)(東) ⇒長机の脚のコロについては、職員でできるものは整備済み。 ・「机の位置が毎回動いているので、どのように後片付けで戻すのか分かりにくい。」(ルーム) ⇒机に番号を振り、床に位置の印を付け、机椅子が整理された画像を前面に掲示しました。 ・「2階体育室の床が滑りやすい。」 ⇒必要に応じて、職員がワックスをかけます。(ルーム) ・「虫が入ってくるので網戸を整備してほしい。」 ⇒各部屋に網戸を取り付けました。(東)、網戸を修繕しました。(青山、ルーム) ・「敷地や駐車場の草木がだいぶ伸びてきました。」 ⇒職員の手で草木の除草・剪定をしました。(北、青山、ルーム) |
|------------------------------------|---|

| | |
|-------------------------------|--|
| <p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p> | <p>○評価委員会の意見</p> <p>○青少年ルームは西部福祉会館と同じ建物にあり、高齢者と青少年の交流の場にもなっているので、各事務はお互いに協力して運営を行ってほしい。</p> <p>【取組状況】</p> <p>・青少年ルームと西部福祉会館は、併設施設としてこれまでも互いに協力して運営を行ってきた。その典型が、西部祭である。青少年ルームと西部福祉会館が協力して、年に一度のお祭りを開催してきている。こうしたお祭りは、以前は他の青少年会館でも実施されていたが、現在はこの西部祭のみとなっている。それは、青少年ルームと西部福祉会館の連携が強固なものであったことの証でもある。</p> <p>現在は、利用者第一を考え、互いに協力して運営していこうとしているところである。なお、今年度は女性職員を配置し、女性目線での職場環境改善にも取り組んでいる。</p> <p>○「おもしろ教室」(学習プリント)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダウンロード数を明記するとよい。 ・ホームページ上、コンテンツ数が多すぎて見づらいため、構成を整理するとよい。 ・印刷はハードルが高いため直接タブレット上で学習が実施できるよう工夫するとよい。 <p>【取組状況】</p> <p>・おもしろ教室は、単なる問題集や学習プリントではない。よって、子ども達が自学自習のために1人で取り組むことを目的に作った教材にはあたらない。「親子で」などと示してある教材があるように、子ども達と寄り添ってみていただける保護者の方や教員のみなさんが、おもしろ教室教材を読み、やってみて、各教科などの面白さや不思議さに、子どもと共に感じていただくことを願って作成している。したがって、ダウンロード数で本教材の評価をすることは望んでいない。</p> <p>とはいえ、評価することは大切である。いま、会館として実施していることは、おもしろ教室教材を「講座で取り上げ」たり、「サタデー・サンデースクールで活用」したりし、参加人数をカウントしている。</p> <p>上半期における講座参加人数は43人、サタデー・サンデースクール活用人数は60人である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価委員会のご指摘の通りと考えホームページの構成を内容が分かるものに改善した。 |
|-------------------------------|--|

| | |
|---------------|--|
| <p>今後の取組み</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・中央青少年会館を含む5館での連携事業の質を充実させ、岐阜市全域での取り組みを一層進める。 ・現代のニーズを踏まえた「青年講座」とするため、内容を厳選し、青年事業の拡大を一層図る。 ・中央青少年会館とともに、エールぎふ、草潤中との連携を強化し、具体的な青少年のサードプレイスとしての居場所づくりを進める。 |
|---------------|--|

| 区分 | 選定基準 | 評価項目 | 具体的な業務要求水準 | 評価 | | |
|-----------------|--|------------------------------------|---|-------|-----|-------|
| | | | | 指定管理者 | 所管課 | 評価委員会 |
| I 公平性 透明性 | 住民の平等 利用が確保 されること | (1)平等利用を確保するための体制、 モニタリングなど | 年少者から高齢者、障がい者など幅広い層に、要望、改善点についての意見を聞き、これをもとに協議して、円滑で公正な施設運営に努めているか。 | S | A | A |
| | | (2)情報公開、広報の方策 | 利用規程、主催事業案内、活動内容等をパンフレットやホームページ、広報ぎふ等に掲載し、情報提供を図っているか。 | S | A | A |
| | | (3)個人情報保護のための方策 | 個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。 | A | A | A |
| | | (4)その他指定管理者の提案によるもの | | S | A | A |
| | | 区分評価 | | | | |
| II 効果性 | 事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用(設置 目的)を最大 限発揮する ものである こと | (1)既存業務の改善、工夫又は新規の 魅力的な提案の有無、内容 | 各種講座の充実・拡大、相談室の開設により青少年の健全育成に寄与しているか。 | S | S | S |
| | | (2)利用者ニーズ、苦情などの把握方法 及び対応方策など | 利用者・講座受講生に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。 | S | A | A |
| | | (3)利用者に対するサービス向上の方策 | 講座受講生や利用団体に対しアンケートを実施し、要望や満足度を調査し、事業展開や職員の接遇等に生かしているか。 | S | A | A |
| | | (4)利用促進、利用者増の方策 | 施設紹介や主催事業のPR活動とともに、新規の事業開拓に努め、利用拡大を図っているか。 | S | S | S |
| | | (5)サービスの質を確保するための体制、 モニタリングなど | 質の高いサービスを維持するために、利用者の声や意見を把握し、施設運営に取り入れるシステムや相談窓口を設けている。 | S | A | A |
| | | (6)施設の効用(設置目的)を最大限 発揮できるスタッフの配置 | 青少年会館の設置目的を踏まえつつ効率の良い施設管理を行うために、管理及び運営にバランスのとれた人材を配置しているか。 | S | A | A |
| | | (7)その他指定管理者の提案によるもの | | A | A | A |
| | | 区分評価 | | | | |
| III 効率性 | 事業計画書 の内容が、 管理経費の 縮減が図ら れるもので あること | (1)指定管理経費の妥当性(サービス とコストのバランスなど) | 利用者へのサービスを低下することなく、コストの縮減に努めているか。 | S | A | A |
| | | (2)収支計画の妥当性 | 削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。 | A | A | A |
| | | (3)管理経費縮減の具体的方策 | 安定性・安全性を損なわない範囲で、具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。 | SS | S | S |
| | | (4)その他指定管理者の提案によるもの | | A | A | A |
| | | 区分評価 | | | | |

| | | | | | | |
|------------------|---|---|--|----|---|---|
| IV 安定性 安全性 | 事業計画書に 沿った管理を安定して 行う物的能力、人的能力 を有していること | (1)経営基盤の安定性 | 公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門的能力を有しているか。 | A | A | A |
| | | (2)スタッフ配置の妥当性(無理はないか) | 職員の担当や勤務時間を工夫し、より効率よく業務ができるように配置しているか。 | A | A | A |
| | | (3)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など | 各職員の専門知識や経験が職務分担に活かされているか。 | SS | S | S |
| | | (4)スタッフの管理、監督体制 | より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務しやすい職場環境ができているか。 | S | S | S |
| | | (5)スタッフの人材育成の方策 | 各種職員研修会を行い、職員の資質向上を目的とした研修計画書が作成されているか。 | A | A | A |
| | | (6)リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど) | 夜間防犯対策・安全点検・館内外の巡回・日常清掃・消防訓練等を実施しているか。また緊急事態における対応が確認されているか。 | S | S | S |
| | | (7)リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など) | ①会社更生法や民事再生法、破産法に基づき更生、再生、破産手続きの申立てをしていないか。 ②市税等の滞納はないか。 | S | S | S |
| | | (8)その他指定管理者の提案によるもの | | S | S | S |
| | 区分評価 | | | | | S |
| V 貢献性 | 事業計画書の内容が、 岐阜市あるいは施設が ある特定の地域(以下 「地元」という。)の振 興、活性化などに貢献 できるものであること | (1)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先) | 地元の法人や青少年団体、ボランティア組織等との連携に努めるとともに、その育成に取り組んでいるか。 | A | A | A |
| | | (2)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用 | 施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元の住民等の雇用に留意しているか。 | A | A | A |
| | | (3)地元での資材等の調達 | 資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意しているか。 | A | A | A |
| | | (4)地元での社会活動等への参加 | 地元で実施される社会活動等への積極的な参加に努めているか。 | S | S | S |
| | | (5)その他指定管理者の提案によるもの | | S | A | A |
| | 区分評価 | | | | | A |

指定管理者の評価(A以外)に対する所管課の意見

I 公平性透明性(住民の平等利用が確保されること)

(1) 平等利用を確保するための体制、モニタリングなど

年少者から高齢者、障がい者など幅広い層に、要望、改善点についての意見を聞き、これをもとに協議して、円滑で公正な施設運営に努めているか。

| 指定管理者の意見 | | | |
|---|--|--|----|
| 履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと) | 実績(成果、効果)数値 | | 評価 |
| | 基準(前) | 現在(後) | |
| 【改善】 ①R2冬期講座アンケートを踏まえた施設改善 ・R3夏期講座におけるコロナへの具体的対応の徹底 定員、3密の回避、体調管理・検温、消毒、換気(網戸の設置)等 ・講座内容の充実を図った。応募者が大変多い親子料理等を 開催無しから開催有りとし、会食無し等の工夫をして実施した。 | R2夏期講座中止 R2冬期講座 ・定員50%以下 ・料理講座無し ・41講座開催 参加者延べ463人 | R3夏期講座 ・定員50%以下 ・料理講座有り ・54講座開催 (13講座↑) 参加者延べ615人 (152人↑) | S |
| 【改善】 ②外国人や難聴者を想定した窓口業務及び避難訓練の工夫 ・新規に全4館にiPadを配置。アプリ「こえとら」により難聴者 に対する対応を全4館で実施。 ・外国人や難聴者に対して、サインボードを活用した避難誘導 訓練を実施。 | ・タブレットによる難 聴者に対する窓口 業務を中央青少年 会館で開始 ・サインボードで避 難誘導訓練実施。 | ・タブレットによる難 聴者に対する窓口 業務を すべての青 少年会館で開始。 ・共通のサインボ ードで避難誘導訓練 実施。 | S |
| 冬期講座と夏期講座の比較は実績として評価が困難であるため、この評価とした。 | | | A |

I 公平性透明性(住民の平等利用が確保されること)

(2) 情報公開、広報の方策

利用規程、主催事業案内、活動内容等をパンフレットやホームページ、広報ぎふ等に掲載し、情報提供を図っているか。

| 指定管理者の意見 | | | |
|---|---------------------|---|----|
| 履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと) | 実績(成果、効果)数値 | | 評価 |
| | 基準(前) | 現在(後) | |
| 【新規】 ①Teamsを活用した情報提供の方策 ・オンライン学習支援「おもしろ教室」の情報提供のために、市 教委学校指導課と連携を図り、全小中学生が配布されたタブ レットでアクセス可能なTeamsにupした。 ・学校の授業・休み時間の補習等での活用や青少年会館主催 講座、サタデー・サンデースクールで活用した。 | ・新規のためデータ (数値)無し | ・主催講座での活用 状況 夏期講座 「ことばであそぼう」 国語:参加者8人 「算数博士にチャレ ンジ!」 算数:参加者19人 ・サタデーサンデー スクールでの活用 参加者:延べ60人 合計87人 (新規87人↑) | S |
| 所管課の意見 | | | 評価 |
| おもしろ教室の普及のため学校指導課との連携を進めたことは評価できるが、おもしろ教室へのアクセスは、情報公開、広報の方策には該当しないため、この評価とした。 | | | A |

I 公平性透明性(住民の平等利用が確保されること)

(4) その他指定管理者の提案によるもの

| 指定管理者の意見 | | | 評価 |
|--|-------------------------------|--|----|
| 履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと) | 実績(成果、効果)数値 | | |
| | 基準(前) | 現在(後) | |
| 【改善】 ①講座利用者のニーズに合わせた講座企画と講座講師情報等の共有・一括管理 ・何度応募しても当選しない講座などは、複数会館実施することで窓口を広くした。 ・評価の高い講座は、地域に偏りなく複数会館で実施した。 | 夏期講座の実施状況 ・R2年度は、コロナ禍の中で中止 | 夏期講座の実施状況 ・R3年度の複数会館実施講座数 4館で共通実施1講座 3館で共通実施5講座 2館で共通実施14講座 全54講座中複数会館実施 20講座(37%) | S |
| 【改善】 ②個に寄り添う教育相談事例と対処方法の共有・一括管理 ・全4館にいる教員OBの専門的知識や経験を生かした個に寄り添う教育相談を実施した。 ・サタデー・サンデースクールに来ている子どもやその保護者への声掛けを発端とした教育相談の展開。 | R2年度上半期教育相談件数 全4館で30件 | R3年度上半期教育相談件数 全4館で 57件(27件↑) (90%↑) | |
| 所管課の意見 | | | 評価 |
| 利用者ニーズに合わせ講座を見直すことは必要であるが、要求水準の範囲内であるためこの評価とした。相談事業についても、公平性の確保として開設することは、要求水準の範囲内とする。 | | | A |

II 効果性(事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること)

(1) 既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容

各種講座の充実・拡大、相談室の開設により青少年の健全育成に寄与しているか。

| 指定管理者の意見 | | | 評価 |
|--|--|--|----|
| 履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと) | 実績(成果、効果)数値 | | |
| | 基準(前) | 現在(後) | |
| 【改善】 ①参加者のニーズに応える魅力的な講座の企画・展開 ・一昨年度夏期講座参加者アンケートを踏まえ、「希望が多い講座」「楽しい雰囲気のある講座」「満足感のある講座」の視点より講座を厳選した。 | R2年度夏期講座中止 R元年度夏期講座参加者アンケートより ・とても楽しかった 78% ・楽しかった 18% 合計96% | R3年度夏期講座参加者アンケートより ・とても楽しかった 84.2% ・楽しかった 14.5% 合計 98.7% (2.7%↑) | S |
| 【改善】 ②「学び」と「集い」の提供による学習拠点支援事業の充実 ・4館の学習スペースに、個別に学習のできる環境づくり、岐阜市のアゴラのように相談して学習ができる環境づくり、書籍や簡易なゲームなどほっと一息つける環境づくりを実施した。 ・1日当たりの利用者数は昨年度と変わらなかったが、環境改善の結果、利用者の評価は向上した。 | R2上半期学習ルーム利用者 1,327人 上半期稼働日95日のため 約14人/日 | R3上半期学習ルーム利用者 1,181人 上半期稼働日85日のため 約 14人/日 満足の意見増加 | |
| 所管課の意見 | | | 評価 |
| 環境づくりは今後も継続改善を望むこととし、要求水準の範囲内の業務内容であるため、この評価とした。 | | | A |

II 効果性(事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること)

(2) 利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など

利用者・講座受講生に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。

| 指定管理者の意見 | | | |
|---|--|--|----|
| 履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと) | 実績(成果、効果)数値 | | 評価 |
| | 基準(前) | 現在(後) | |
| <p>【改善】 ①利用者ニーズの把握と適切な対応 ・「アンケートによるニーズの把握」⇒「迅速な対応」⇒「対応内容の公表」⇒「対応後の利用者の声」⇒「対応方策(内容)の評価」という改善サイクルの定着を図った。 具体的対応例 東青…コロナ禍の中、網戸がないため定期的に窓を開けたが、夜などは虫が入ってきて困った。(利用者の声) ⇒会館の予算調整と、コミセンとの連携により、全部屋に網戸を付けた。(会館の対応) ⇒安心して利用できる環境になった。コロナ禍の中、網戸があることは本当にありがたかった。(利用者の声)</p> | 従前の改善サイクル 「アンケートの実施」 ⇒「ニーズの把握」 ⇒「迅速な対応」 ⇒「対応内容の公表」 | 改善後のサイクル 「アンケートの実施」 ⇒「ニーズの把握」 ⇒「迅速な対応」 ⇒「対応内容の公表」 ⇒「対応後の利用者の声」 ⇒「対応方策の評価」 (4館合計4件) (改善4件↑) | S |
| 所管課の意見 | | | |
| 利用者の声を受け改善することは大切であるが、要求水準の範囲内の業務であるためこの評価とした。 | | | A |

II 効果性(事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること)

(3) 利用者に対するサービス向上の方策

講座受講生や利用団体に対しアンケートを実施し、要望や満足度を調査し、事業展開や職員の接遇等に生かしているか。

| 指定管理者の意見 | | | |
|--|-------------------------|---|----|
| 履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと) | 実績(成果、効果)数値 | | 評価 |
| | 基準(前) | 現在(後) | |
| <p>【新規】 ①心を込めた講座参加者への対応 ・地域の学校へ、夏期講座の連絡をした。 ・活動の様子を見て、先生が子ども達へ言葉がけをする環境を創った。 ・会館での活動が学校に認められることで、子ども達の活動意欲が高まった。</p> | ・新規のためデータ(数値)無し | 夏期講座において、地域の学校と繋いだ講座数と参加児童数 講座数…7講座 (新規7講座↑) 参加児童数…91人 (新規91人↑) | S |
| <p>【改善】 ②心を込めた施設利用の提案 ・利用者の声を受け、ホワイトボード用マーカーとレーザーを職員手作りのケースに入れてお渡しするよう改善した。</p> | R2年度上半期提案件数(4館合計) 4件 | R3年度上半期提案件数(4館合計) 5件 (1件↑) (25%↑) | |
| 所管課の意見 | | | |
| 心を込めた対応は子どもたちの教育施設として大切なことではあり、業務内容は要求水準の範囲内であるためこの評価とした。 | | | A |

II 効果性(事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること)

(4) 利用促進、利用者増の方策

施設紹介や主催事業のPR活動とともに、新規の事業開拓に努め、利用拡大を図っているか。

| 指定管理者の意見 | | | 評価 |
|---|----------------------------------|--|----|
| 履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと) | 実績(成果、効果)数値 | | |
| | 基準(前) | 現在(後) | |
| 【新規】 ①自主学習の対応改善 ・自主学習に来館する児童生徒に、必要に応じて指導者が寄り添った学習支援をはじめた。 ・個に応じた学習相談(学習の仕方、個別の課題等)を行った。 ・個に応じた共感的な教育相談を行った。 | ・新規のためデータ(数値)無し | 自主学習の対応改善の実態 R3年度上半期利用者数 北青…2人 東青…43人 青山…15人 ルーム…13人 4館 合計73人 (新規73人↑) | S |
| 【改善】 ②子ども会サポートプラン充実のための方策改善 ・前年度末の合同会長会(旧会長)で実施してきた内容説明を、年度当初のブロック会長会(新会長)で行った。 ・課題であった会長の引継ぎの問題が解消できた。 | R2年度上半期子ども会サポートプラン相談件数 4館合計2件 | R3年度上半期子ども会サポートプラン相談件数 4館 合計14件 (12件↑) (600%↑) | |
| 所管課の意見 | | | 評価 |
| 自主学習を支援する体制を作り、要求水準を上回る業務を履行しており、実績もあるためこの評価とした。 | | | S |

II 効果性(事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること)

(5) サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど

質の高いサービスを維持するために、利用者の声や意見を把握し、施設運営に取り入れるシステムや相談窓口を設けている

| 指定管理者の意見 | | | 評価 |
|--|---|---|----|
| 履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと) | 実績(成果、効果)数値 | | |
| | 基準(前) | 現在(後) | |
| 【改善】 ①施設利用者アンケートを生かす制度改善 ・利用団体の代表者からの意見は、日常の会館運営の評価を的確にとらえているため、目的を「運営状況・施設設備の改善」に絞ったアンケートに改善した。 | R2年度上半期利用者アンケート満足度 ・全体98.0% ・施設設備97.5% ・職員対応98.1% | R3年度上半期利用者アンケート満足度 ・全体 98.7% (0.7%↑) ・施設設備 98.6% (1.1%↑) ・職員対応 98.8% (0.7%↑) | S |
| 【改善】 ②主催事業参加者アンケートを生かす制度改善 ・主催講座参加者からの意見は、講座の評価を的確にとらえているため、目的を「講座の企画・改善」に絞ったアンケートに改善した。 | R2年度夏期講座中止 R元年度夏期講座参加者アンケート満足度 ・少年講座は楽しかった 97.0% ・岐阜キラメキ講座は楽しかった 95.0% | R3年度夏期講座参加者アンケート満足度 ・少年講座は楽しかった 98.4% (1.4%↑) ・キラメキ講座は楽しかった 98.8% (3.8%↑) | |
| 所管課の意見 | | | 評価 |
| 日々の改善は大切なことではあり、その業務内容は要求水準の範囲内であるため、この評価とした。 | | | A |

II 効果性(事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること)

(6) 施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置

青少年会館の設置目的を踏まえつつ効率の良い施設管理を行うために、管理及び運営にバランスのとれた人材を配置しているか。

| 指定管理者の意見 | | | |
|--|--|--|----|
| 履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと) | 実績(成果、効果)数値 | | 評価 |
| | 基準(前) | 現在(後) | |
| 【改善】 ①職員の専門性やスキルを活用した事業展開 ・教員OB等の専門性を活かし、小中学生を対象としたサタデー・サンデー学校を実施した。コロナ禍の中で、昨年度以上に個に寄り添った丁寧な学習支援や教育相談を展開した。 | R2年度上半期 サタデー・サンデー学校参加者数と指導者数 ・参加者数45人 ・指導者数12人 | R3年度上半期 サタデー・サンデー学校参加者数と指導者数 ・参加者数 60人(15人↑)(33%↑) ・指導者数 18人(6人↑)(50%↑) | S |
| 【改善】 ②職員のスキルアップの推進 ・中青の若者支援クローズアップ講座に4館の館長及び職員が参加し、若者支援に関するスキルアップを実施した。 ・テーマをより小中高生支援に繋がるものに厳選し、現場に生きる内容に重点化を図った。 | R2クローズアップ講座 職員参加者数 ・性の多様性 4名 ・サポート体制 4名 ・就労支援 4名 ・若者支援 4名 | R3クローズアップ講座 職員参加者数 ・若者の困難 4名 ・児童虐待 4名 ・不登校・引きこもり支援4名 ・性の多様性 4名 (日々の業務に生かせる内容に改善) | |
| 所管課の意見 | | | 評価 |
| 教職員を活用した人材配置については、要求水準の範囲内であるためこの評価とした。 | | | A |

III 効率性(事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること)

(1) 指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)

利用者へのサービスを低下することなく、コストの縮減に努めているか。

| 指定管理者の意見 | | | |
|---|---|---|----|
| 履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと) | 実績(成果、効果)数値 | | 評価 |
| | 基準(前) | 現在(後) | |
| 【改善】 ①コストをかけないサービスの向上 ・職員自らで対応する修繕や樹木剪定など施設維持管理・環境美化によるサービス向上を図った。 ・コロナ禍に応じたサービスを実施した。 (R3新規に取り組んだ内容) ・換気のための網戸修繕(コロナ対応) ・PCの修繕(他会館職員による) | R2年度上半期コストをかけないサービスの具体例 ・敷地内の除草 ・樹木の剪定 ・テニスコートの整備 ・花壇の手入れ ・花瓶及び生花の設置 ・体育室等のワックスがけ ・利用後の消毒・スリッパの除菌(コロナ対応) | ・4館連携したサービス向上により、コストの縮減が図れた。 | S |
| 【改善】 ②自主事業実施によるサービスの向上 ・自主事業岐阜キラメキ講座を実施した。 ・理数教育、親子講座、岐阜ならではの伝統文化講座などに講座内容を焦点化し、内容を厳選した。 ・事業団職員の専門性を活かした講座を企画・実施した。 | R2年度夏期講座中止 R元年度夏期講座 岐阜キラメキ講座数と職員講師講座数 ・岐阜キラメキ講座数 37講座 ・職員講師講座数 0講座 | R3年度夏期講座 岐阜キラメキ講座数と職員講師講座数 ・岐阜キラメキ講座数 29講座 (新型コロナウイルスによる臨時休館により削減) ・職員講師講座数 4講座(4講座↑) | |
| 所管課の意見 | | | 評価 |
| 職員による簡易な修繕や環境美化等、コストの縮減が図れたことは評価できるため、今後サービス向上に繋げることを期待してこの評価とした。 | | | A |

Ⅲ 効率性(事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること)

(3) 管理経費削減の具体的方策

安定性・安全性を損なわない範囲で、具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。

| 指定管理者の意見 | | | |
|--|---|---|----|
| 履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと) | 実績(成果、効果)数値 | | 評価 |
| | 基準(前) | 現在(後) | |
| 【新規】 ①施設連携講師の全4館実施 ・講座講師を専門的な知識や資格を有する事業団職員が務めることで経費を抑えて事業を実施した。今年度は 初めて全4館で悉皆実施 した。 | R2年度夏期講座中止 R元年度夏期講座事業団職員講師講座数 北青…0講座 東青…1講座 青山…0講座 ルーム…0講座 合計 1講座 | R3年度夏期講座事業団職員講師講座数 北青…0講座 (冬期講座で実施予定) 東青…3講座 青山…1講座 ルーム…3講座 4館 合計7講座 (新規 7講座↑) (600%↑) | SS |
| 【新規】 ②旧庁舎廃棄物品再利用による環境の改善・経理費削減 ・新市庁舎移転に伴う旧市庁舎廃棄物品を譲り受け、会館職員による整備・補修、クリーニング・除菌を施し、4会館の事務室環境の改善をすると共に管理費の削減を図った。 | ・新規のためデータ(数値)無し | 環境改善事例 ・北青…事務室椅子4脚、脇机1台 ・東青…事務室椅子4脚 ・青山…事務室椅子4脚、脇机1台 ・ルーム…事務室椅子4脚、脇机1台 | |
| 所管課の意見 | | | 評価 |
| 事業団職員による自前講師や、備品の無償活用について要求水準をやや上回る内容であるため、この評価とした。 | | | S |

Ⅳ 安定性安全性(事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること)

(3) 組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など

各職員の専門知識や経験が職務分担に活かされているか。

| 指定管理者の意見 | | | |
|--|--|--|----|
| 履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと) | 実績(成果、効果)数値 | | 評価 |
| | 基準(前) | 現在(後) | |
| 【改善】 ①教員OBの専門性を活かした相談事業の展開 ・教育相談経験のある職員が、来館小中学生に言葉がけをしながら、困り感のある児童生徒に教育相談をした。 ・サタデー・サンデースクールで 寄り添った学習支援 をした。 ・学習支援と共に 学校・家庭・生活の困り感 を尋ねた。 ・ 信頼関係を構築し、個に寄り添った教育相談 を展開した。 | R2上半期4館の教育相談件数 ・北青…6件 ・東青…21件 ・青山…3件 ・ルーム…0件 合計 30件 | R3上半期4館の教育相談件数 ・北青…16件 ・東青…10件 ・青山…15件 ・ルーム…16件 合計 57件(27件↑) (90%↑) | SS |
| 【新規】 ②オンライン教材「おもしろ教室」を活用した主催講座 ・「おもしろ教室」教材は閲覧するだけでなく、先生や保護者と共にその教材に挑戦し、教材の面白さを体験するところに価値があるため、主催講座で活用した。 ・教材制作者が講師のため 教材の真の魅力 がよく伝わった。 ・ 枠にとらわれない自作教材のため、教科の内容や問題の不思議さ、作品の魅力 などを伝えることができた。 | 実績無し | R3夏期講座 おもしろ教室教材を活用した講座の状況 ・ことばであそぼう(国) 参加者8人 ・算数博士にチャレンジ1(算)参加者10人 ・算数博士にチャレンジ2(算)参加者9人+保護者2人 ・光アートづくり(図) 参加者16人 (新規合計49人↑) | |
| 所管課の意見 | | | 評価 |
| 教職員OBの特性を活かした相談事業を行い、実績も良好であるためこの評価とした。 | | | S |

Ⅳ 安定性安全性(事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること)

(4) スタッフの管理、監督体制

より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務しやすい職場環境ができているか。

| 指定管理者の意見 | | | 評価 |
|---|---|---|----|
| 履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと) | 実績(成果、効果)数値 | | |
| | 基準(前) | 現在(後) | |
| 【改善】 ①働きやすい環境を創り出すための工夫・実施・認定 ・女性をはじめ、全ての職員が自らの能力を発揮しやすい職場環境づくりに努めた。 ・個の特性を生かした職務分担による男女共同参画づくりをした。 ・(新規)4館すべてに女性職員を配置した。 | ○職場環境創造の視点から受けた認定 ・基準適合一般事業主(くるみん)(厚生労働省) ・岐阜県ワークライフ・バランス推進エクセレント企業(岐阜県) ・岐阜市共育・女性活躍企業(岐阜市) など ○女性職員の状況 3会館で4名/12名 | ○職場環境創造の視点から受けた 継続認定 ・基準適合一般事業主(くるみん)(厚生労働省) ・岐阜県ワークライフ・バランス推進エクセレント企業(岐阜県) ・岐阜市共育・女性活躍企業(岐阜市) など ○女性職員の状況 全4館で5名/16名(1名↑25%↑) | S |
| 【新規】 ②4館持ち回り館長会の実施と4館統括体制の具現 ・4館で館長会を実施し、各会館の地域性や施設設備を理解し、4館の密な連携体制を構築した。 ・利用者目線に立ったフリースペースの有り方の交流・実施した。 | R2年度上半期の状況 ・館長会は、オンライン又は中青開催 ・4館の執務状況、施設設備の認識が薄い | R3年度上半期の状況 ・館長会は、オンライン又は 4館持ち回り開催 ・4館の情報共有 ・書物の設置、遊具の設置を進めた。 | |
| 所管課の意見 | | | 評価 |
| 職員が働きやすい環境を整備するための要件等の充足を図り、各種認定や表彰を受けたことは、要求水準の内容をやや上回る業務を履行しているとして、この評価とした。 | | | S |

IV 安定性安全性(事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること)

(6) リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)

夜間防犯対策・安全点検・館内外の巡回・日常清掃、消防訓練等を実施しているか。また緊急事態における対応が確認されているか。

| 指定管理者の意見 | | | 評価 |
|---|--|--|----|
| 履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと) | 実績(成果、効果)数値 | | |
| | 基準(前) | 現在(後) | |
| 【改善】 ①安全点検表による日常点検の徹底 ・事故防止の視点から点検表をさらに改善した。 ・どんな些細な事柄も職員が共有できるように記述した。 ・点検表で異常を見つけた場合(△、×をチェックした時)は、その異常に対する対応を記述し、全職員で共有した。 | R2年度「安全点検表」改善点 ・チェック部分以外に備考欄(記述部分)を付加 備考欄への記述数 4会館の月平均 約7件 | R3「安全点検表」改善点 ・備考欄に記述する内容を些細な事柄も記述し職員で共有 備考欄への記述数 4会館の月平均 約11件(約4件↑)(57%↑) | S |
| 【改善】 ②全国各地の指定管理者との災害応援協定の締結 ・全国各地の指定管理者と災害応援協定を締結した。 ・各施設は緊急避難所等に指定されており、全国的な協定により、災害時の対応が極めて有効に働く。 | 全国の指定管理者と災害協定の締結(内容) ・人員派遣、支援物資の提供、募金等 ・全国9指定管理者 | 全国の指定管理者と 災害協定の締結を継続 (内容) ・人員派遣、支援物資の提供、募金等 ・全国9指定管理者 | |
| 所管課の意見 | | | 評価 |
| 全国9つの指定管理者と災害応援協定を締結し、非常時のリスクに備えていることは要求水準をやや上回る内容のため、この評価とした。 | | | S |

IV 安定性安全性(事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること)
(7) リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)

- ① 会社更生法や民事再生法、破産法に基づき更生、再生、破産手続きの申立てをしていないか。
- ② 市税等の滞納はないか。

| 指定管理者の意見 | | | |
|---|--|---|----|
| 履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと) | 実績(成果、効果)数値 | | 評価 |
| | 基準(前) | 現在(後) | |
| 【改善】 ①万が一に備えた傷害保険への加入 岐阜市が加入する保険とは別に、講座等開催時の傷害保険に加入した。なお、青少年会館の特性を踏まえた内容とした。 ・熱中症危険補償特約 ・青少年会館までの行程(行き・帰り)の補償 | R2年度補償内容 ・死亡・後遺障害1千万円 ・入院保険日額5千円 ・手術保険金5万円 ・通院保険日額3千円 上半期利用数 0人 (夏期講座中止のため) | R3年度補償内容 ・死亡・後遺障害1千万円 ・入院保険日額5千円 ・手術保険金5万円 ・通院保険日額3千円 上半期利用数 延べ1,007人 | S |
| 所管課の意見 | | | 評価 |
| 保険の補償内容は、令和元年度の保険の更新時に内容を拡充したことが継続されているため、この評価とした。 | | | S |

IV 安定性安全性(事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること)
(8) その他指定管理者の提案によるもの

| 指定管理者の意見 | | | |
|--|--|--|----|
| 履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと) | 実績(成果、効果)数値 | | 評価 |
| | 基準(前) | 現在(後) | |
| 【改善】 ①近隣施設との協力・連携体制(エールぎふ) ・子ども・若者総合支援センター(エールぎふ)との連携強化を図り、サテライト会場としての機能を果たした。 ・エールぎふまで足を運ばない少年に、青少年会館をサテライト会場とし、少年と保護者、エールぎふ担当者が相談業務を実施した。 | R2年度上半期 エールぎふと4青少年会館との連携件数 合計 1件 | R3年度上半期 エールぎふと4青少年会館との連携件数 合計 3件 (2件↑) (200%↑) | S |
| 【新規】 ②近隣施設との協力・連携体制(草潤中) ・岐阜市立草潤中学校との連携を開始した。 ・草潤中と懇談し、連携の在り方などを協議。 ・具体的な連携開始。まずは、中青との連携で延べ8人が来館。 ・通級生徒、オンライン生徒の受け皿として4館の環境整備を実施した。 | ・新規のためデータ(数値)無し | R3年度上半期 草潤中との連携 ・通級生徒・オンライン生徒のサテライト会場のため、全4館でWiFi環境を整えた。 | |
| 所管課の意見 | | | 評価 |
| 教職員OBの能力を活かし、エールぎふとの連携を進めたことは要求水準をやや上回る業務を履行していると、この評価とした。 | | | S |

V 貢献性(事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化)などに貢献できるものであること)

(4) 地元での社会活動等への参加

地元で実施される社会活動等への積極的な参加に努めているか。

| 指定管理者の意見 | | | |
|--|---|--|----|
| 履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと) | 実績(成果、効果)数値 | | 評価 |
| | 基準(前) | 現在(後) | |
| 【改善】 ①ぎふまち育て隊(アダプトプログラム)への参加 ・4会館において、取組場所を登録した。 ・勤務表に位置付け、全職員が分担して美化活動実施。 ・地域の方とのコミュニケーションを大切にした。 ・地域の児童生徒の見守りをするため、実施時刻を児童の下校時刻に合わせて実施するなど工夫した。 | R2年度上半期 アダプトプログラムの状況(回数、人数) 北青…24回、24人 東青…24回、24人 青山…6回、12人 ルーム…24回、24人 合計78回、84人 | R3年度上半期 アダプトプログラムの状況(回数、人数) 北青…36回、36人 東青…26回、26人 青山…5回、10人 ルーム…24回、24人 合計91回、96人 (13回↑,12人↑) (17%↑,14%↑) | S |
| 所管課の意見 | | | 評価 |
| アダプトプログラムで清掃活動を実施し、参加回数も伸びているためこの評価とした。 | | | S |

V 貢献性(事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化)などに貢献できるものであること)

(5) その他指定管理者の提案によるもの

| 指定管理者の意見 | | | |
|---|--|--|----|
| 履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと) | 実績(成果、効果)数値 | | 評価 |
| | 基準(前) | 現在(後) | |
| 【改善】 ①子どもスマイルステーション・子ども110番の家の認定 ・午前9時から午後9時まで、職員が在中し、急な駆け込みなど青少年の安全確保をした。 ・登下校中の急なトイレや急な雨の時の傘の貸し出し、雨宿りなどに対応した。(貸し傘の整備、本数を増やした。) | R2年度上半期 利用件数、状況 ・利用件数 19件 ・利用状況 トイレ…8件 貸し傘…4件 雨宿り…6件 その他…1件 | R3年度上半期 利用件数、状況 ・利用件数 28件 ・利用状況 トイレ…12件 貸し傘…7件 雨宿り…7件 その他…2件 (9件↑) (47%↑) | S |
| 【新規】 ②地域におけるサードプレイスとしての会館の提供 岐阜市全域にある青少年会館を、居心地のよいサードプレイスとして足を運ぶ環境づくりをした。 ・各会館のフリースペースの環境の確保に取り組んだ。 ・書籍、遊び道具、運動用具等の収集をした。 | ・新規のためデータ(数値)無し | R3年度上半期 4青少年会館の状況 北青…環境有 東青…環境有 青山…環境有 ルーム…環境無 | |
| 所管課の意見 | | | 評価 |
| 子どもが寄りやすい施設としての取組みは評価できるが、内容として要求水準の範囲内であるため、この評価とした。 | | | A |

●指定管理者評価委員会の意見

○料理実習室や屋外コートについて、コロナ禍においても活用されるよう努められたい。